

平成30年度第1回瑞浪市子ども・子育て会議議事録

平成30年8月31日（金）

午前13時20分から14時20分

瑞浪市保健センター 3階大会議室

出席委員：藤田委員、肥田委員、兼松委員、出村委員、清水委員、永井委員、工藤委員、木股委員、矢田委員、橋本委員、渡辺委員、栗岡委員、水野（美）委員、水野（優）委員、後藤委員、鶴来委員

欠席委員：桑原委員、江口委員、伊佐地委員、渡邊委員

傍聴人：なし

事務局：加藤民生部長、南波民生部次長、山崎

<事務局>

只今より、平成30年度第1回瑞浪市子ども・子育て会議を開会いたします。

本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は、今年度募集いたしました瑞浪市小規模保育事業について1事業所から応募がありましたので、そのご報告と、第2期子ども・子育て支援事業策定についての今後の進行についてご報告をさせていただきます。

また、本日、桑原委員、江口委員、伊佐地委員、渡邊委員から、ご都合により欠席連絡をいただいております。

それでは、あいさつを民生部長がいたします。よろしくお願いいたします。

1、あいさつ

<加藤部長>

暑い中、また大変お忙しい中、子ども・子育て会議に出席いただきましてありがとうございます。

この会議は、保育施設の利用定員を定めたり、あるいは子ども・子育て支援計画を作ったりすることに対して、審議いただいてご意見をいただく場でございます。子ども・子育ての支援につきましては、この計画にのっとった形で、今、市の方が色々な施策を進めておるところでございます、再度色々なご意見を出していただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<南波次長>

4月に1名の委員の交代がありました、日比野委員が退任されまして、新しく桔梗幼稚園保護者会代表の桑原あゆみ委員が委員となりました。

「会長が議長を務める」となっておりますので、永井会長委員をお願いします。

2、議事

<会長>

それでは、「瑞浪市小規模保育事業所選定について」について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

平成29年度に瑞浪市子ども・子育て支援計画の見直しを行い、平成31年度より小規模保育事業所開設を予定し、今年度公募を行った結果、応募があった市内の社会福祉法人について、応募事業者、施設の設置・運営概要、整備スケジュールを資料内容に沿って説明した。7月1日開園としての応募と7月1日開園での協議書が出されていること、8月27日に選定委員会を行い、選定委員会においては小規模事業者としてふさわしいと承認された事について、委員の皆様にご意見などをいただいた上で、承認を求める旨を説明する。

<会長>

ただ今の説明を受けて、何か質問や意見はありませんか。

<委員>

給食の配送について、小規模で未満児0・1・2歳児の保育ということですので、離乳食から移行している時期で、搬入は、細菌感染や管理の面で心配。調理師が傍にいないと保育士への負担が心配。小さめでもいいので調理室があった方が良いのではないかと。

<事務局>

審査委員会の方でもご意見がでたところでもあります。応募者より、搬入につきましては、専用の配送車で給食を運ぶなど安全な食事に関して配慮し、未満児0・1・2歳児に合わせた給食を適宜提供するとの明確回答がありました。また、市の要綱でも小規模事業は関連施設からの給食の搬入を認めています。これは、国の基準を基に定めているものです。

<委員>

事業者の経営する体力とか事業主の状況とかの調査は済んでいますね。これだけの情報では、判断できない。それができていればOKだと思う。

<事務局>

その点につきましては、応募の際に資料を提出いただいております、選定委員会の方でしっかりと審査をして上で、この会議に持ってきております。

<議長>

なかなか、これだけでは判断できないとの事でしたが、事前の選定委員会で詳しい資料が出され、そういう面での詳細については検討されてきているということです。

他にご意見はございませんでしょうか。

では、承認していただくということでよろしいですか。

—委員賛同—

<会長>

本会議協議の結果、選定委員会の決定を承認します。

続いて、第2期瑞浪市子ども・子育て支援事業計画について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定に至る経緯、今後のスケジュールについて説明した。資料として、現子ども・子育て支援計画策定時のアンケートを見ていただき、30年度、このアンケートをベースに国の考えを踏まえ今年度のアンケートを作成、調査対象を就学前児童と就学児童の各1000人する予定、アンケートの原案が出来たら郵送で委員の皆さんのご意見をいただきたいこと、本会議は3月頃に予定していることを説明した。

策定するにあたり、株式会社ぎょうせいに委託契約している報告をした。

<会長>

ただ今の説明を受けて、何か質問や意見はありませんか。

<事務局>

今回の資料は、前回策定時のもの、今回これを基に修正して出させていただくとともに、国の方からこういうアンケートを取ってくださいという指示がございますので、そちらも反映させていただき今回のアンケートとさせていただきますこととなります。ここはこう直した方がいいとか表現をこういうように変えた方がいいよとか子ども子育ての計画を立てるならばこういうようなことを聞いた方がいいよとかございましたら、この場を出していただいてもいいですし、後日でも結構ですので、そういうような意見を出していただければ、それに基づきましてアンケートを作成して、アンケートを再度提出するという形で、アンケートでいただいた意見を反映させて様な計画にしていきたいと思っております、ご意見等をいただければと思います。

<会長>

資料に今日を通していただいた方がよろしいですか。

<事務局>

今、意見をいただければお伺いいたしますし、後日でも構いません。

<会長>

少し時間を取りますので、目を通していただいて、ご意見がございましたらお願いします。

<委員>

就学前児童と就学児童となっていますが、学校関係に配られる訳ですか。

<事務局>

調査回答を無作為で抽出してアンケートを取るつもりでございますので、学校経由ではなくて、直接保護者へ郵送という方法を今のところ考えております。

<会長>

大変時間がなくてすみません。この短い時間では、すべて目を通すことができないと思いますが、このような内容が乗っているといいな、アンケートにのせていただくといいなというようなことがございましたら、発言をお願いします。それから、平成27年度に配布された子ども・子育て支援計画のようなもの31年度ができるわけです。そのための基礎資料というか、実態把握をするためのアンケートとなります。子育て支援事業の計画がこういった冊子になって出てきて、具体的に子どもたちをどう支援していくかという事の計画がさせていく一番のスタートのアンケートということになりますので、内容を全部通される時間はないですが、こんなようなことを聞いていただくと良いということがございましたら、お願いいたしたいと思います。

<委員>

一番最後に「教育・保育関係の充実など子育ての環境や支援についてご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。」とあるが、抽象的で保護者として考えるとわかりにくいので、施設とかのハード面とサービスなどのソフト面を分けて、こういう場所だったらいいとかこういうサービスがいいというように分けた方が保護者として書きやすい。

<会長>

こういう風にばくっと出されると非常に書きにくいというお話ですので、ハード面といえますか、こういう施設があるといいというようなこと、またこういうサービスあるといいというようなこと、両面に分けて出していただけると書きやすいというお話でした。

<委員>

「子どもの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。」「瑞浪市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号5つまでに○をつけてください。」について3つまでや5つまでと数が示されていると保護者としてどれも困っていることや期待していることがたくさんあって、そこから絞らないといけないけれど、子育て真最中のママさんの切実な長いというのは、3つかでは絞れないと思うので、選ぶのに困ると思います。

<事務局>

参考にさせていただいて、なるべく数を選んでいただけるようにするなど、考えてみえること、困って見えることが、反映されるようなアンケートにかえさせていただきます。

<委員>

しょうがないと諦めてしまうのではなく、瑞浪市に困っていることを伝えやすい方がせつかくのアンケートならその方がいいと思います。

<事務局>

意見が反映できないようなアンケートならよくないので、今いただいた意見を参考になるべく多く、思っていることが入れられるような形で考えさせていただきます。

<委員>

「事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいとおもうものをお答えください。」の任意の団体が実施する子育てに関する事業にママカフェが含まれると思いますが、具体的は名前を入れていただかないとわからない方もいると思います。名前を入れていただいた方が、認知していただけますし、周知もしていただけるのでありがたいと思います。

<事務局>

前回のアンケートの時に具体的にいろいろと施設がないのとママカフェさんができたのと、他にも調べて事業がありましたら、ここに入れさせていただきます。

<委員>

過去に同じような2回アンケートが届いたことがあります。1回目届いたときにアンケートのボリュームの多さに驚きました。子育て真最中で大変な思いをしながら、まじめに向き合って丁寧にアンケートに答えましたが、その後の反応が無く、2回目に届いたときにやる気が起きなく出さなかった。一生懸命答えてくださったアンケートに対して、冊子を作って終わりとか、アンケートをしたことに満足するのではなく、本当に反映させてほしいと思いました。

<事務局>

アンケートにつきまして、今回の計画に反映できる部分もあると思いますし、次の計画等に反映させていただくということもあります。自由意見をなるべく端折らなく全文記載する形でどのような意見が出たかということを細かく冊子に載せさせていただいてと考えております。

<会長>

計画を作って、実現していくために例えば、切れ目のない支援とか未満児から小学生、中学生、高校生、成人なるまで進めていくわけですが、そういうものの基本的なご意見を聞いてそれが色んな方、市の関係とか色んな専門的なことを考えて見える方のご意見聞きながら、色々な会議を作って実際の現場へ活かしていくという形の大本ですので、できるだけアンケートに参加していただいて、貴重な意見だと思いますので、できるだけ詳しくお願いします。

<委員>

前回のアンケートに基づいて、今変えられることは何かあったのか。

<事務局>

一時預かりの充実ということで一時預かりの数を増やしたり、未満児保育の充実という事で、未満児保育ができる小規模事業所を募集して来年度から1つ増やすなどの施策に反映させております。

<委員>

病後保育がありますが、いざ利用するかと言ったらしていないと思いますが、その点についてかわっていますか。

<事務局>

病後保育につきましては、継続で毎日2人ずつ受入れをお願いしております。実際に2人ずつ実際に預かっているかというところではないが、必要な時に預かっただけのサポート体制をとっているということで理解していただきたいと思います。

瑞浪市にないサービスもありますし、他市にはないけど瑞浪市にあるサービスもありますので、サービスの一覧表を作ってお示ししております。

<委員>

サービスの案内を学校を通して毎年度初めに配布したらどうか。

<事務局>

サービス開始の時には配布しておりますし、毎年広報等のご案内をしていますが、学校の方にも機会ごとに周知していただくようにしていきます。

<委員>

市報より、学校に配っていただいた方が皆さんが見られると思います。

<事務局>

順番にそうさせていただきます。

<会長>

実現していくという意味で、具体的な活動が望ましいという事なのでよろしくお願ひします。

<委員>

前回のアンケートを反映した事業を今回のアンケートにつけるだけでも違うのでは。

アンケートが初めてであれば、これだけ細かなアンケートでも良いが、同じことをやるのではあまり意味がない。とても量が多いので、これではせつかくのデータも取れないと思います。このアンケートを取って施策を実施されたのであれば、その施策の検証が先だと思います。それをしないで、同じようなアンケートを取るのには不信感にもつながると思うので、見直した方がいいと思います。どういうことが具体的に行われているかということが保護者の方に伝わっていないので、具体的に示し、それによって生活や気持ち等がどう変わったか検証された方が次の5年に生きてくると思います。内容につきましても、本当にいるのか疑問に思うものがいくつかあります。国からの指示もあると思いますし、数値的なデータが欲しい部分があるとありますが、一度その辺も検討いただければと思います。

<事務局>

アンケートにつきましては、スケジュールで9月・10月頃次回のアンケートを作成するというような検討しております。その段階におきましても次回のアンケートということ

で、案を作りましたら、みなさんにお送りいたしまして、その点につきましても皆様にご意見をいただいて、考慮してアンケートで次回はやっていきたいと思しますので、意見をいただいて、より良いアンケートにしていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

<委員>

今の意見が反映されたアンケートが送られてくるということですか。

<事務局>

反映させていただいてアンケートの案を作らせていただいて、それに対してまたご意見をいただいて、反映させていただきたいと思します。

<委員>

ガラッと変わったものが送られてくるということですか？

<事務局>

国の方からの指示もありますので、その辺の直させていただいたものになるかと思しますが貴重な意見をいただいた分はなるべく反映させていただいてアンケートを作らせていただきたいと思します。

<会長>

他によろしいでしょうか。前向きな意見として私は受け止めております。子ども子育てに対してもっとこんなようなことをして欲しい、こんなようなことを考えて欲しい、そしてぜひ実現していただきたいという思いが皆さんの中にある気がしております。そういった意味で、アンケートを作り、事業計画を作り、実現に向けて進んでいくことの一番のスタートだと思しますので、事務局の方から資料が送られてきましたら、目を通していただいて、ご意見いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

3 その他

<会長>

本日の議題は終了しましたが、その他、この場でお話ししておきたい事があれば、挙手をお願いします。

<肥田委員>

ママカフェ mimi では、地元のママさんの利用が少なく感じています。

今、本当にママカフェが必要かどうか検討している。

瑞浪市に本当にママカフェが必要かということも皆さんに考えて欲しい。

小規模については、私たちも小規模をやらせていただいて2年目になります。私たちがやってきたことをぜひ参考にさせていただけたらと思します。

<会長>

ママカフェの方も、

小規模の方は、未満児の要望が、非常に要望が多いようですので、公立だけでなく私立の方も本当に頑張ってみえますので、みなさんでご意見いただいて、PRもしていただいて、充実した保育をしていきたいと思えます。

他にはよろしいですか。では事務局の方からお願いします。

<会長>

平成31年度の入園について説明した。

<会長>

次回の会議は3月頃に実施の予定とのことですので、また通知が行くかと思えます。

よろしくをお願いします。

<出村委員>

一番大事なのは子どもさんです。どうしても親さんの支援したい、保護者の支援は本当に大事ですが、その中で子どもたちが置き去りにならない状況にしたい。アンケートをすると時間を延ばしてほしいとか、安くして欲しいとか声が出るかと思えますが、現場を必死にやっているということもご理解いただいて、親さんも守り、子どもたちも守り、瑞浪市が発展していくように、私たちができることは頑張っていきたいと思えます。現場は本当に一生懸命やっているとわかっていたらいいと思えます最後に一言言われていただきました。協力は是非させていただきたいと思えますが、子どもが病んでしまうことはほんとに悲しいことなので、一言言わせていただきたいと思えます挙手させていただきました。

<会長>

子ども中心で、子どもが育つようにこの会議もこれからも進めていきたいと思えます。

<事務局>

貴重な意見をありがとうございました。行政として、母親の目線や子どもの目線を考慮したつもりではおりますが、至らないところが非常に多くて、本日も厳しい意見をいただきましたので、現実の意見を反映させた形で、今後の子育ての計画等させていただきますので、これからも貴重な意見を出していただきたいと思えます。本日はありがとうございました。これで閉会とさせていただきます。